

接続詞“然后”の誤用傾向とその指導法⁽¹⁾

— 準中級中国語学習者の作文に見られる誤用の分析に基づいて —

羅 華¹

要旨

“然后”は時間的な前後関係を表す接続詞であり、従来、中国語学習において難点とは見なされていない。しかし、近年、中国語母語話者による前後関係を表さない“然后”の口語的な使用が顕著になるにつれて、中国語学習者の間で“然后”の誤用が目立つようになってきた。“然后”は、初級段階の中期に導入されることが多い。この段階は複文が導入されはじめるため、学習者の表現意欲が高まる時期でもあるが、母語話者の過度な“然后”の使用を安易に模倣すると、正しい中国語の習得に支障をきたす可能性が生じるため、適切な指導が必要となる。本稿では、準中級中国語学習者⁽²⁾の作文から収集した誤用例を取り上げ、それらを「“然后”の使用条件の不備」、「“后来”との混同」、「“以后”との混同」、「論理的関係の誤認」及び「書き言葉における談話標識としての使用」の5類型に分類し、それぞれの誤用原因を分析した上で、対応する指導法を提案する。

【キーワード】“然后”の指導法 中国語の接続詞 誤用分析 “然后”の拡張用法 話し言葉における“然后”

1. はじめに

“然后”は外国語としての中国語教育において従来あまり注目されたことがない。それは、“然后”の用法が単純であるからだろう。『現代漢語八百詞』（2002）によれば、“然后”はあることの次に続けて別のことが起こることを表す。例えば、“先讨论一下，**然后**再做决定（まず検討してみて、その後決める）”とある。『現代漢語辞書（第7版）』（2016）にも同様の記述があり、“**学然后**知不足（勉強し、その後足りないことを知る）”という例文を挙げている。一方、『實用現代漢語語法（第三版）』（2019）の第八章は接続詞を取り上げているが、常用接続詞の一覧表には、“然后”はリストアップすらされていない。すなわち、“然后”は時間的な前後関係のみを表す単純な接続詞であることから、習得が容易な語と見なされている。

しかし近年話し言葉において中国語母語話者による“然后”の非時間的用法が顕著になっている。

- (1) 我喜欢农家小炒的，最好是用锅煮，**然后**少汤。 (BLCU Chinese Corpus⁽³⁾)
「私は農家小炒⁽⁴⁾のが好きだ。鍋で煮込むのが最もいい、それにスープが少なめで。」
- (2) 因为我这几天做的事老是马虎不认真**然后**害得他总是改了又改。 (BLCU Chinese Corpus)
「この頃私が何をしても大雑把だったので彼に何度も修正させてしまった。」

(1)にある“然后”は、出来事の順序ではなく、累加を表すように見える。また、(2)にある“然后”も順序ではなく、因果関係を表すように見える。このような現象は中国語学習者に混乱を招き、“然后”の誤用を増やすだけでなく、ほかの接続詞の習得にも支障を来している。本稿では、主に準中級中国語学習者による“然后”の誤用を分析し、その原因及び対策を考察する。

2. 先行研究

中国学術情報データベース（CNKI）で“然后”をキーワードとしてジャーナル論文を検索したところ、2004年から2024年までの39本の論文が該当した。これらの論文の多くは、母語話者の“然后”の使用状況についてのものであるが、中国語学習者の習得状況についてのものも3本ある。王（2004）は中国人大学生を対象に“然后”の使用状況についてのアンケート調査を実施し、63%の調査協力者が“然后”の本来の用法と

¹ 立命館アジア太平洋大学（APU）言語教育センター 嘱託講師

Email: luohua@apu.ac.jp

違う使い方をしているという結果を得た。“然后”は話し言葉において接続詞として本来の前後関係を表すことに加え、累加、因果関係を表すほか、話を継続させるための談話標識としても多用されていると指摘している。齊（2014）は中国のあるバラエティ番組に出演したゲストの話を分析したところ、王（2004）の指摘に加えて、話し言葉における“然后”は逆接、条件、仮定を表すこともできると主張する。話し言葉における“然后”の拡張的用法を“然后”の濫用と称し、言葉の規範的な使用を呼びかける学者（齊2009、白2018）がいる一方、それを全面否定せず、適切に使用すべきだと主張する学者（齊2014、焦2021、刘2024、姚・原2024）もいる。また、刘（2014）は初級レベルと中級レベルの中国語学習者の作文を分析したところ、初級レベルの学習者による“然后”の誤用は主に“以后”と“后来”の混同に現れるが、中級レベルの学習者による誤用の多くは“然后”の多用に現れることがわかった。また、施（2020）は準上級レベルの中国語学習者110人の口語データにおける“然后”の使用状況を分析したところ、学習者の“然后”の使用状況が母語話者のそれにほぼ一致していることがわかった。

上記の先行研究に鑑みると、母語話者による“然后”の拡張的用法は中国語学習者に影響を及ぼしていることが否めない。ただし、上記の誤用分析の対象は、中国に留学している中国語学習者である。そこで、母語話者による“然后”の拡張的用法は目的語環境にいない中国語学習者に同様の影響をもたらしているか、そうであるならば、どのような対策が考えられるかを考察したい。

3. “然后”の話し言葉における拡張的用法

先行研究においては、“然后”が話し言葉において、本来の時間的な前後関係のみならず、累加、因果関係、条件、逆接、仮定など多様な意味関係を表し得ることが明らかにされている。また、接続詞的な用法に加え、話を滑らかに進めるための談話標識としても多用されていると指摘している。以下、一つの実例を示す。この実例は、WeChat⁽⁵⁾の動画チャンネルにある人生相談番組の一節を筆者が書き起こしたものである。

- (3) 我、我那个儿子、他今年是已经 32 岁了，**然后**他是，嗯专科毕业的，**然后**他那个专业是电气自动化。毕业以后也有工作八年了。**然后**他现在，就是说都是他参加的工作，嗯换了好几份工作，都是做，嗯技术类的。**然后**就是工作没办法稳定下来，基本上就是在乙方这边工作。技术类，他，就是等于他，在一个公司里面，他比如说，他一个项目，这个项目结束以后，他就要换一个城市，对，**然后**就没有办法成家立业。

「私の息子は今年もう32歳になった。あのう、彼は短期大学卒で、ええと、専門は電気オートメーション。卒業してすでに8年間働いている。ええと、彼が今、やってきたすべての仕事、まあいくつかの仕事を变えていたが、すべて技術的なことをやっている。だけど、なかなか安定することができない。彼は基本的に派遣先で仕事している。つまり一つのプロジェクトが終わったら、都市（勤務地）を変えなければならない。なので、家庭を築くことができない。」

(3) に五つの“然后”が使用されたが、時間的な前後関係を表す“然后”は一つもない。1番目から3番目の“然后”は書き言葉の立場から見れば、いずれも無いほうが読みやすい文章になるが、話し言葉では、話し手はそれを使用することによって、緊張した気持ちをほぐしたり、話の流れを止めずに適切な言葉を探す時間を稼いだりすることができる。要するに“然后”はここで談話標識として使用されている。また、4番目と5番目の“然后”はそれぞれ、逆接と因果関係を表しているように見える。

この実例のように、現在中国語母語話者の話を注意して聞くと、必ずと言ってよいほど、本来の用法と違う“然后”が耳に入る。しかし、母語話者がこの様に使用しているからといって、中国語学習者にそのまま教えるわけにはいかない。なぜなら、先行研究で指摘した“然后”の逆接、累加、因果関係などを表す拡張的用法は、本当にそうであるか疑問が残るからだ。周知のように、中国語には「意合法」という特徴がある。「意合法」とは、接続詞を使わずに文脈に頼って前後の文の論理的関係を表すことである。

- (4) 那个夏天我还差一点谈情说爱，我遇到了一位赏心悦目的女孩。 (小説『活着（生きている）』)

「あの夏、私はもう少しで恋に落ちるところだった。胸をときめかす少女に出会ったからだ。」

(4) は原因を表す文と結果を表す文の順番を入れ替えた倒置文であるうえに、原因を表す後続文の前に“因为”を省いたが、読み手は文脈に頼って作者の意図を読み取ることができる。したがって (3) の4番目と5番目の“然后”はそれぞれ“但是（しかし）”と“所以（なので）”の役割を担っていると考えられるが、聞き手が話し手の意図を問題なく理解できるのは、“然后”が“但是”と“所以”の意味を表すことができるというより、聞き手が文脈でその意味を読み取ったからだと考えられるだろう。

一方、話し手の考えによって前文と後続文が同じであっても、違う接続詞が使用される可能性もある。

- (5) *今天我有中文口试了。今天我做了第一个考。所以我很紧张了。然后我的作品和我的发音不太好，我需要学习更多。

→ 今天我有中文口试，我第一个考。所以我很紧张。而且/另外我的作品和发音都不太好，我需要学习更多⁽⁶⁾。

「今日中国語の口頭試験があった。私は一番に試験を受けたので、とても緊張していた。それに/また、私の文章と発音があまりよくないので、もっと勉強しなければならない。」

(5) は学習者の3行日記の全文である。“然后”が単純な前後関係を表すため、書き手が何を表そうとしているのかが不明だ。“而且”を用いれば、緊張していたうえに、文章の内容も自分の発音も良くなかったせいで、試験の成果を得られなかったのもっと勉強したいことが表せる。それに対して“另外”を用いれば、試験の時は緊張していた、それと同時に自分の文章の内容と発音がよくないので、もっと勉強したいことも表せる。アメリカの心理学者A・マレービアン（Albert Mehrabian）が、言語情報と感情・態度が矛盾するコミュニケーション場面において受け手がどの情報を重視するかを検討する実験を行った。その結果、話し手が伝える情報のうち、視覚情報が55%、聴覚情報が38%、言語情報が7%を占めることが示された。話し言葉において母語話者は“然后”を頻繁に他の接続詞のかわりに使用しても、相手に理解されるのもそのためであろう。しかしながら、書き言葉においては言語情報のみであるため、接続詞を適切に使用する必要がある。

4. 学習者による“然后”の誤用状況

4-1 準中級レベルの中国語学習者による“然后”の誤用の類型

本研究は、準中級中国語学習者の作文から収集した“然后”に関する95例の誤用を分析し、それらを5類型に分類した。そのうち「論理的関係の誤認」を、さらに7類型の論理的関係を表わす誤用類型に細分した。詳細は表1及び表2に示す。

表1 準中級レベルの中国語学習者による“然后”の誤用の類型

	“然后”の使用条件の不備	“后来”との混同	“以后”との混同	論理的関係の誤認	書き言葉における談話標識としての使用
誤用数	1	1	29	44	20
割合	1%	1%	31%	46%	21%

- (6) *我买了一件运动的衣服和衬衫。然后我们吃了汉堡包。

→ 我（先）买了一件运动的衣服和衬衫，然后我们去吃了汉堡包。

「私は運動服とシャツを買って、それから私たちはハンバーガーを食べに行った。」

- (7) *我们一边聊天儿，一边看电视剧。然后她们想来我家，所以我们去第二个女生会。

→ （前略）后来她们想来我家，所以我们在我家开了第二个女生聚会。

「私たちはおしゃべりをしながらドラマを見ていた。その後、彼女たちは私の家に来たいと思ったので、私の家で2回目の女子会を開催した。」

- (8) *今天我上课了。然后我参加了跳舞社团的会议。 → 今天我上课了。上完课以后我参加了舞蹈社团的会议。

「今日私は授業を受けた。その後私はダンスサークルの会議に出席した。」

- (9) *我觉得我吃了太多饭。还是，然后我吃冰淇淋了。我一定不吃很多饭下次。

→ 我觉得我吃了太多饭。而且我还吃冰淇淋了。下次我一定不吃这么多了。

「私は食べ過ぎたと思う。それにアイスクリームも食べた。今度はもう絶対にこんなにたくさん食べない。」

- (10) *电影的音声又美丽又壮大。然后虽然电影的故事和动画的有点儿不一样，但是我哪个都感动。

→ 电影的音效又美丽又壮大。然后虽然电影的故事和动画的有点儿不一样，但是哪个版本都让我很感动。

「映画の音声は美しく、かつ壮大である。映画のストーリーは動画のものとは少し違うが、どれも感動的だった。」

(6) の文は口頭での発話であれば、“然后”の誤用と見なされない。しかし書き言葉として提示する場合には、“然后”の用法を理解していない誤用であると考えられる。その理由は前文と後続文の間に句点が用いられたためである。句点を用いると、前文と後続文はそれぞれ別の事柄を述べる文として理解されるため、「先にAをして、それからBをする」という連続性を持つ一つの事柄として捉えにくくなる。よって学生の原文を最大限に活かせば、句点をカンマに直すだけで“然后”の使用条件が満たされるようになる。(7) の文に使用される“然后”は“后来”の誤りであり、(8) の文に使用された“然后”は“以后”の誤りだと考えられる。(9) の文にも“然后”が使用されたが、前文と後続文の間に累加関係が見られるため、累加関係を表す接続詞“而且”を使用すべきだ。(10) にある“然后”は、会話においては談話標識の機能を果たすため、誤用と見なさないが、文章体においては不要な成分になる。

一方、文中に存在している論理的関係を捉えず、文間の空隙を埋めるために“然后”を使用した誤用は、(9) のように累加関係を誤認するものに限らず多数存在し、さらに7類型に細分可能である。詳細は表2に示すとおりであり、以下に誤用例を順に提示する。なお、累加関係を表す“而且”を使用すべき誤用文及び説明は前出の(9)の例文で示している通りである。

表2 論理的関係の誤認に基づく誤用類型(7類型)

	假定	条件	因果関係	補足・並列	逆接	累加	前文から導かれる結果
誤用数	1	1	8	10	3	18	3
割合	2%	2%	18%	23%	7%	41%	7%
適切な接続詞	如果	只要	因为……, 所以	另外	可是	而且	于是

- (11) *我们平时应该过这样的生活。然后，我们的生活水平越来越好。

→ 我们平时应该过这样的生活。如果⁽⁷⁾我们这么做，我们的生活就会越来越好。

「私たちはふだんこのように過ごすべきだ。そうすれば、私たちの生活はますますよくなるだろう。」

- (12) *在SALC⁽⁸⁾，我可以讨论语言学习困难，然后SALC的将帮助我们解决这些困难。

→ 在SALC，我们可以跟SALC的工作人员讨论自己学习语言的困难。只要我们告诉他们自己的困扰，他们就会帮助我们解决这些困难。

「SALCでは言語学習についての困りごとを話すことができる。話しさえすれば、SALCのスタッフが助けてくれる。」

→ 在SALC，我们可以讨论语言学习困难，因为SALC的人将帮助我们解决这些困难。

- 「SALCでは言語学習についての困りごとを話すことができる。SALCのスタッフが助けてくれるから。」
- (13) *我还没想过这个问题。然后我简单地回答，我想提高自己的中文水平。
→ 我还没想过这个问题。所以我简单地回答，我想提高自己的中文水平。
「私はこの問題を考えたことがないので、自分の中国語のレベルを高めたいと簡単に答えた。」
- (14) *星期一我有五个课。所以我真累。然后今天我第一次去上了对面课。
→ 星期一我有五节课。所以我真累。另外，今天我第一次去上了面授课。
「私は月曜日に授業が5コマあったので、本当に疲れた。また、今日私ははじめて対面授業を受けた。」
- (15) *今天我睡觉觉得很多了。我10点醒了。然后从下午4点再睡午觉了。
→ 今天我睡得很多。我10点醒了，可是下午4点又开始睡午觉。
「今日私はたくさん寝た。10時に起きたが、午後4時からまた昼寝をしていた。」
- (16) *我的学姐没有课，所以我问她可以不可以帮我做饭。然后她做了一碗汤、一盘菜（後略）……
→ 我的学姐没有课，所以我问她可以不可以帮我做饭。于是她做了一碗汤、一盘菜（後略）……
「私の先輩は授業がないので、ご飯を作ってもらえるかを聞いてみた。すると、彼女はスープ、おかず（略）を作ってくれた。」

(11) は健康習慣について述べる作文からの誤用文である。この文の前に述べていた健康習慣を身につければ、いい生活ができるという趣旨のため、仮定を表す語を使用する必要がある。(12) は“然后”を使うと、学習者は先に自分の言語学習についての悩み事を言い、次にSALCのスタッフはその悩み事に対してアドバイスをするというように、順番を説明する文になり、SALCに行くメリットを説明することができない。それに対して、最低限の条件を表す“只要（～さえすれば）”を用いることにより、自分の言語学習についての困り事を話しさえすれば、SALCのスタッフが手伝ってくれることを表すと同時に、SALCは気軽に利用できる施設だというニュアンスが伝わる。そのため、(12) に“只要”を用いることは最も適切である。ただし、この文章を作成した段階では、そのクラスの学習者にとって“只要”は未習項目であった。そのため、学習者には“然后”のかわりに“因为”を使用するように指導した。“因为”の方が修正箇所が少なく、認知的負荷も低いため、学習者にとって理解しやすいと判断したからである。(13) に関しては「この問題を考えたことがない」のは原因で、「簡単に答えた」のは結果であるため、因果関係を表す語が適切である。(14) は自分の1日を紹介した文章である。授業をたくさん受けたので疲れたと述べた後、補足事項としてそれらの授業のうち、はじめて受ける対面授業もあったという情報を補った。そのため、補足事項を示す語句を用いる必要がある。(15) では「今日はよく寝たにもかかわらず、午後4時からまた昼寝をしてしまった」という逆接な意味関係を表そうとしたと考えられる。しかし、“然后”は本来、出来事の単純な時間的前後関係を表す順接の接続詞であり、このような逆接的なニュアンスを担うことはできない。そのため、ここでは、“可是”などの逆接を表す接続詞を用いるのが適切である。最後に、(16) は単純に時間的前後関係を表す“然后”より、前のことから自然に導かれた結果を表す“于是”のほうが妥当であろう。

4-2 “然后”の誤用の原因と対策

4-2-1 “然后”の使用条件の不備の原因と対策

このタイプの誤用は(6)の1例のみ確認された。誤用に至った原因としては“然后”に対する理解が不十分であったことが考えられる。“然后”は時間的な前後関係を表す語である。この前後関係は、連続する複数の動作や事象から構成される一つの事柄の内部での順序を示すものであることため、その点を学習者に明確に説明する必要がある。

4-2-2 “后来”との混同の原因と対策

“后来”との混同の誤用も(7)の1例のみ確認された。この誤用は、“然后”と“后来”の違いを十分に理解

していないことに起因していると考えられる。“然后”は、一つの事柄の内部での連続して起こる動作・事象を順次述べる語である。一方、“后来”は、ある時点以降に生じた新しい状況を述べる語である。(7)の文は、「わたしたちはおしゃべりをしながらテレビを見ていた」という一つの事が終わった後、「彼女たちはわたしの家に来たがった」という新しい状況が生じているため、この場合には“后来”を用いるべきである。“然后”が複数の手順の中で後続のステップを導く語であることを、学習者に明確に示すことは有用であろう。

4-2-3 “以后”との混同の原因と対策

4-2-3-1 “以后”の指導を重視する

“以后”との混同は“以后”と“然后”は同じ漢字の“后”を使用しているため、言葉の形態が似ているうえに、両方とも「その後」と訳せることが一因だと考えられる。それに加え、“以后”を使用する場合は情報の統合処理が必要になるため、“然后”より複雑である。そのため、学習者がどちらを使うかと考える時、より簡単な“然后”を選ぶ傾向にあると言えよう。

- (17) *今天我有三个课。然后我去打工了。→ 今天我有三节课。下课以后我去打工了。
「今日授業が3コマあった。その後、バイトに行った。」

(17) では、“以后”を使うためには“上完课以后”または“下(了)课以后”のように情報の統合処理が必要となる。その為、この種の誤用を回避する対策として“以后”の習得を促す練習を積極的に展開することが考えられる。例として、(18)のように“以后”を学習した後、その用法を盛り込んだ短文または会話を学習者に提示し、それを参考に“以后”の三つの用法を含んだオリジナル文章を作成させる。

- (18) 下课以后，你教我英语好吗？我二十分钟以后在图书馆门口等你。我很想学习英语。以后，我想做英语老师。
授業が終わった後、英語を教えてもらえるかな？私は20分後に図書館の前で君を待っているね。私はとても英語を習いたい。将来、英語の先生になりたいんだ。

この練習を通して、“以后”は動詞句と時量詞の後に置き、「～(した)後」を表す用法に加え、単独で使い、「今後」を表す用法もあることを学習者に再認識させることができよう。また、“以后”と“然后”を両方学習した後、(19)のような選択問題を作成して練習させることも考えられる。要するに、“以后”と“然后”を関連づけて指導することが必要である。

- (19) 回家_____ (以后/然后)，我先洗手，_____ (以后/然后) 做饭。
家に帰った後、私は先に手を洗い、それからご飯を作る。

4-2-3-2 “然后”の導入要領と導入時期

“然后”は時間的な前後関係を表す接続詞であるため、導入する時にその特徴を鮮明に反映する用例が必要である。その特徴を反映するには、(20)のように“先”と“然后”を使用した、順序を説明する例文が望ましいが、(21)のように“先”を省き、“然后”のみ使用した文を採用している教材が少なくない。なお、(20)は初級の教材、(21)は中級の教材から引用したもので、両方ともユニットの本文からの一文である。

- (20) 我们先去逛街，然后去看电影吧。「私たちは先に街をぶらぶらして、その後映画を見に行こう。」
(21) 我要自己创业，然后成为真正的城里人。「私は起業し、正真正銘の都会人になる。」

表3 “然后”を導入する教材⁽⁹⁾ 及び例文の提示傾向

	調査した教材数	“然后”を導入する教材数	導入割合	“先”と“然后”を併用する例文を使用した教材数	“先”と“然后”を併用する例文の割合
初級教材	41冊	11冊	26.8%	8	73%
中級教材	22冊	9冊	41%	5	56%

表3に示すとおり、“然后”を導入している初級教材と中級教材の割合は、筆者が調査した教材全体のうち、それぞれ26.8%と41%を占める。すなわち、中級での導入率は初級のそれより高い。しかし、“然后”を導入した教材の中で“先”と“然后”を併用する例文を採用した割合は、初級教材のほうが高い。これは、中級レベルの話題が初級と比べて、日常生活のルーティンや事柄の手順といった具体的な内容から、人々の考え方や文化などの抽象的な内容へと移行するため、“然后”のような時間的な前後関係を示す表現は、初級段階のほうが典型的な応用例を挙げやすいからである。そのうえ、2021年に『国際中国語教育中国語レベル等級基準』⁽¹⁰⁾が発表され、それまでに『新漢語水平考試大綱』⁽¹¹⁾(2009)の中で3級の語彙と定められていた“然后”は、より難易度を下げた2級の語彙と改定された。したがって、“然后”の導入は初級段階の中期に“先”と同時に導入されることが望ましいと言えよう。

一方、“然后”を初回導入時に時間的な前後関係を表す語として定着させることは、学習者がその後、“然后”の話し言葉における拡張的用法に触れた際の混乱を軽減し得る。そのため、(20)のような日常生活に関する例文のほか、学習者に論理的順序の解決策を考えさせる練習問題が有効である。一例を示すと、いわゆる川渡り問題⁽¹²⁾を「虎と山羊と花」バージョンにアレンジし、学習者に“先”と“然后”を活用させることが挙げられる。初級段階では(22)のように三段階に分けて考えさせるのが妥当であろう。

- (22) ① 先带羊过河, 然后自己回到对岸。 先に羊を連れて渡る。それから自分一人で戻る。
 ② 先带老虎过河, 然后带羊回到对岸。 先に虎を連れて渡る。それから羊を連れて戻る。
 ③ 先带花过河, 然后回到对岸带羊过河。 先に花を持って渡る。それから自分で戻って羊を連れて渡る。

4-2-4 論理的関係の誤認の原因と対策

本節では誤用全体のおよそ半数を占める「論理的関係の誤認」の原因について考察する。「論理的関係の誤認」は誤用全体の46%を占めている。この誤用率の高さから、準中級中国語学習者は文間の論理的関係についての認識が薄いと言わざるを得ない。これは、44例の誤用文のうち、「前文から導かれる自然な結果」を表す“于是”を除き、仮定を表す“如果”、条件を表す“只要”、因果関係を表す“所以”、補足事項・並列を表す“另外”、逆接を表す“但是”、並びに累加を表す“而且”は、すべて既習項目であるからだ。また、累加を表す“而且”を想起せず、もしくは前後の文の関係を意識しないまま“然后”を誤用する事例は、7つの誤用類型の中で最も多く、「論理的関係の誤認」に該当する誤用全体の41%を占めている。要するに、学習者が“然后”の使い方を知らないと言うよりも、文間の論理的関係を把握していないか、あるいは文間に論理的関係があることに気づいていないと考えられる。4-1節においてすでに誤用例を提示しているが、本節ではさらに別の誤用例を取り上げ、その原因について考察を加えたい。なお、「仮定」及び「条件」という論理的関係に関する誤用文は、それぞれ1例ずつのみ確認されており、いずれも4-1節で提示済みである。

- (23) *今天我和成员们去文化周导演的家完成戏剧的录音。录音完成得很早, 然后我们想去公园练习演出。
 → (前略) 录音完成得很早, 所以我们想去公园练习表演。
 「(前略) 録音が早く終わったので、私たちは公園へ出し物の練習をしに行きたかった。」
 (24) *我忙的时候, 也我没有食材的时候不能吃饭。然后我喜欢吃油腻的菜和很重的。
 → 我忙的时候和没有食材的时候吃不上饭。另外, 我喜欢吃油腻的和口味重的菜。

- 「忙しい時や食材がない時、私は食べられない。また、私は油こい料理と味づけが濃い料理が好きだ。」
- (25) *我们聊了很多事儿关于我们的生活、学习，还有去年的变化，非常高兴！然后下午她有课，所以我们就得勉强解散了。
- (前略) 可是下午她有课，所以我们只好勉强解散了。
- 私たちは (中略)、とても楽しかった。しかし彼女は午後授業があるので、私たちは仕方がなく分かれた。
- (26) *为了去学校和工作前吃早餐，我家人都早起。这个是对健康很重要的。然后，我常常去散步。
- (前略) 这个习惯对健康是很重要的。而且，我常常去散步。
- 「(前略) この習慣は健康にとっても大切なことだ。そのうえ私たちはよく散歩に行く。」
- (27) *回家的时候我还遇到一个好友，然后要把一些零食给她尝尝，但是她拒绝了。
- 回家的时候我还遇到一个好友，于是我想把零食给她尝尝，但是她拒绝了。
- 「家に帰る時友人に出会った。すると私は彼女にお菓子を食べさせたかったが、断られた。」

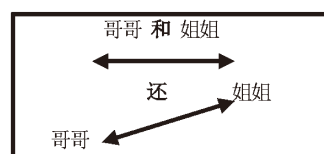
学習者が文間の論理的関係を表す接続詞を正しく使用できない理由としては、主に二つの要因が考えられる。第一に、文と文の間に論理的関係が存在すること自体に気づいていない場合である。第二に、論理的関係の存在には気づいているものの、適切な接続詞の選択や使い分けができない場合である。(23)～(27)の例はいずれも三文以上で構成されているが、(23)および(24)には接続詞として“然后”のみが使用されており、文と文の関係性を十分に意識していないことが窺える。このことから、学習者は長い文章の中で耳慣れた“然后”を安易に挿入している可能性があると推測される。一方、(25)～(27)には“然后”を除き、“所以(ので)”、“为了(～ため)”“但是(しかし)”といった他の接続詞が適切に用いられているため、学習者が文中に存在する論理的関係を認識していることが示唆される。ただし、“然后”を含む接続詞の使い分けについては、依然として十分に習得されていない可能性がある。

「論理的関係の誤認」に分類される誤用を減少させるためには、複文の学習が正式に導入される以前の段階から文と文の間に論理的関係が存在することを学習者に意識させる必要がある。具体的に接続詞“和(～と)”と副詞の“还(そのうえに)”が習得された段階において、両者の機能的差異を明示的に比較させることが有効であると考えられる。

- (28) 我有一个哥哥和一个姐姐。 私には一人の兄と一人の姉がいる。
- (29) 我有一个哥哥，还有一个姐姐。 私には一人の兄がいるうえに、一人の姉もいる。

(28)と(29)の文は初級レベルの早い段階で学習する内容である。“和”が並列関係を示すのに対し、“还”は累加的な意味を持つ。(28)と(29)を学習者に比較させ、両者の違いに気づかせる。このような比較を通じて、学習者は文と文の間に存在する論理的関係を認識しやすくなるだろう。また、言葉による説明に加え、視覚に訴える図を見せ、学習者の印象を深めることも考えられる(図1)。平行方向に伸びる左右矢印は、“哥哥”と“姐姐”を“和”でつなぐ場合に、両者が並列関係にあることを表す。一方、斜め方向に伸びる左右矢印は、“哥哥”と“姐姐”を“还”でつなぐ場合に、両者が互いにとって累加関係にあることを示す。なお、この説明は一回だけでなく、初級段階を通して折に触れて説明することが効果的であろう。

図1 “和”と“还”を使用した文のそれぞれの関係性



“和”と“还”の学習を通して文間の論理的関係に対する認識が構築されれば、その後の接続詞の学習は円

滑に進むだろう。一方、一般的に初級・準中級段階に導入される接続詞のレベル区分に変化が生じている。“然后”と本稿が誤用文修正に用いる接続詞をそれぞれ、2021年に公布された『国際中国語教育中国語レベル等級基準』と2009年に改訂された『新漢語水平考試大綱』で調べたところ、表4に示すように因果関係を表す“所以”及び「前文から導かれる結果」を表す“于是”を除き、いずれも高い等級から低い等級へ引き下げられていることがわかった。要するに、新しい学習基準では接続詞の学習段階が従来よりも早い段階に設定されることになったのである。したがって、文間の論理的関係を早い時期に学習者に意識させることは一層大切になるだろう。

表4 初級・準中級段階における常用接続詞のレベル区分の変化

	假定	条件	因果関係	補足・並列	逆接	累加	前文から 導かれる結果	時間的前後関係
接 続 詞	如果	只要	所以	另外	可是	而且	于是	然后
『新漢語水平考試大綱』 における等級	3	4	2	4	4	3	4	3
『国際中国語教育中国語 レベル等級基準』に おける等級	2	2	2	3	2	2	4	2

他方、学習者は文間の関係性を認識しているにもかかわらず、3節で述べた中国語の特徴である「意合法」が、中国語では接続詞を使用しなくてもいいという誤解を生じさせている可能性は否定できない。これは、教材中に「意合法」によって構成された文が多く見受けられるからだ。

- (30) 中国老师说得太快，我听不懂。 「中国人の先生が早口なので、聞き取れない。」
 (31) 你第一次打，学得很快。 「あなたは初めてプレイするのに、覚えるのが早いね。」
 (32) 在中国，没有房子是结不了婚的。 「中国では持ち家がないと結婚できないのだ。」

(30)～(32)はいずれも日本で出版された中国語の教材の本文から引用した文である。(30)では、前文が後続文の原因だが、因果関係を表す“所以”が使用されていない。(31)では、前後の文は逆接の関係だが、逆接を表す接続詞“可是”が用いられていない。(32)の後半部分は関連語句が使われていない緊縮文⁽¹³⁾であるが、假定を表す“如果”は使用されていない。しかし、教員は英語か日本語で文の意味を説明する時に論理的関係を表す語句を使うだろう。したがって初級及び準中級段階では、意合法で構成された複文が学習材料に含まれる場合、学習者に接続詞を補った文を提示して説明することは、接続詞全体の習得に良い影響を与えると考えられる。

なお、学習者に文間の関係性を意識させると同時に、誤用分析により判明した誤用率が高い接続詞の指導を重視することも必要である。表2に示しているように、誤用率が最も高い接続詞は“而且”であり、「論理的関係の誤認」の41%を占める。それに次いで“另外”は23%を占める。一般的に、“而且”はどの教材においても学習の重点とされているのに対して、“另外”を文法項目や学習のポイントとして取り上げる教材は、管見のかぎり見当たらない。今後“而且”に加え、“另外”に対する指導を強化することが求められるだろう。

4-2-5 書き言葉における談話標識としての使用の原因と対策

本節では書き言葉において“然后”を談話標識として用いるという誤用の原因と対策を考察する。小野寺(2024)は談話標識を「談話の流れを作ること・構成に貢献したり、また、話し手がそのDM⁽¹⁴⁾の後続部分でどんなアクション(行為)をしようとしているか、何をしようとしているか(例「でも」・butの後のトピック移行や、wellの後のためらい・配慮など)を聞き手に知らせるもの」と定義している。“然后”は従来、時

問的な前後関係を表す接続詞として使用されているが、近年では3節で述べたように、話し言葉において自分の発話権を保持したり、話題転換したりする談話標識を含む多様な拡張的用法が見られる。中国語母語話者が話し言葉において頻繁に“然后”を使用する傾向の影響を受け、談話標識としての“然后”をそのまま文章中に使用する学習者が少なくない。

- (33) *我喝了花茶、青茶和黑茶。然后我觉得青茶是最好喝的。
 → 我喝了花茶、青茶和黑茶。我觉得青茶是最好喝的。
 「私は花茶、青茶と黒茶を飲んだ。青茶が最も美味しいと思う。」
- (34) *我新的兼职工作是我和伴侣一起去各种餐馆。然后、促进烟草销售。
 → 我的新的兼职工作是和同伴一起去各种餐馆促进烟草销售。
 「私の新しいバイトはパートナーと一緒にいろんなレストランへタバコを売りに行くことだ。」

(33) と (34) に使われた“然后”は文章においてはいずれも不要である。(33) を書いた学習者は、飲んだお茶の種類を述べた後、どれが最もおいしいかと考えながら、“然后”を使って発話権を保持しようとしたことが推測できる。(34) における“然后”は適切な表現を探すための時間を稼ぐ働きをしているだろう。こういった考慮は話し言葉においては妥当だが、書き言葉においては冗長な表現となり、書き手の文章力の評価を低下させる。また、“然后”を談話標識として使用することは、話し言葉においては誤用ではないものの、過度の使用は誤解や混乱を招いたり、話し手の言語能力を含む思考力に対する評価を下げられかねないため、不適切であり、学習者の注意を喚起すべき事象でもある。

学習者が文章中で談話標識としての“然后”を使用することを避けるためには、“然后”が用いられる文体(話し言葉か書き言葉か)によって機能が異なることを明示的に指導する必要がある。しかしながら現状では管見のかぎり、“然后”の話し言葉における拡張的用法に言及した教材が未だ見当たらない。一方で、インターネットの普及により、中国語母語話者が周囲にいない、あるいは少数である環境においても、学習者が母語話者の自然な会話に触れる機会は格段に増加している。学習者はドラマやバラエティ番組であふれる“然后”を聞き続けると、それが万能な言葉であると誤解し、正確な表現の学習を怠るおそれがある。したがって教員による明確な説明が求められるだろう。

具体的に言えば、第一段階として“然后”を学習する際に、従来の用法に加えて、話し言葉における使い方も学習者に紹介することが望ましい。一般的に“然后”は初級段階の中期に配置される学習内容である。この段階の学習者は一度の発話で一文しか話せないことが多く、“然后”を談話標識として使用する場面はまだ限られている。それでも、“然后”は書き言葉と話し言葉の両方に用いられるが、意味や機能が異なることを予備知識として提示しておくことは、今後の理解を深める上で有意義である。次に第二段階として準中級レベルにおいては、3節で挙げた(3)の例を教材として活用し、書き言葉と話し言葉のケースに分けた「間違い探しゲーム」を考案することが可能である。まず学習者に(3)で使われた“然后”を探させ、その使用頻度の高さを体感させる。その後、母語話者によるこの発話が書き言葉として用いられた場合、文法的・文体的に不自然な点が多く含まれていることを指摘し、その理由を学習者自身に考察させることで、“然后”を談話標識として使用する際の適切な場面についての理解を促す。

5. おわりに

本研究は日本において中国語を学習している準中級中国語学習者による“然后”の誤用状況を分析し、“然后”と他の接続詞の習得状況及び話し言葉における拡張的用法との関連性を探ることで、誤用に至る原因とその対策について考察を行った。

先行研究(刘2014)では、初級学習者による“然后”の誤用が主に“以后”及び“后来”との混同に現れることが指摘されている。本研究では、日本の準中級学習者を対象とした分析において同じ現象が確認された。

但し“然后”と“后来”との混同は1例のみ見られ、“以后”との混同のほうが圧倒的に多い。また、中国に留学している準上級学習者の口語データを対象とした先行研究（施2020）では、“然后”の過度使用の原因として、母語話者による話し言葉における“然后”の頻繁な使用の影響、ならびに英語の「and」「then」「well」からの負の転移が挙げられており、指導上の対策が必要であるとされている。本研究における分析データは、日本国内の準中級中国語学習者が作成した作文から抽出したものであるが、同様に“然后”の過度使用傾向が確認された。ただし、誤用の原因については、母語話者の話し言葉に頻出する“然后”の影響が無視できないものの、それだけでは説明しきれないことが、本研究の誤用分析を通して明らかとなった。“以后”との混同や文間の論理的関係を表す他の接続詞の習得状況も“然后”の誤用を引き起こす要因として考えられる。

したがって、“然后”の習得を促すには以下のことが必要である。まず、“然后”を導入する際には、一連のステップを含む事柄において、二番目以降のステップを導くのが“然后”の基本的な用法であることを明示的に指導することが重要である。この基本用法を理解すれば、(6) 及び (7) に見られるような誤用を回避できると考えられる。次に、話し言葉における拡張的用法を教材や授業に取り入れることである。ただし、先行研究で言及した拡張的用法のうち、逆接や累加などを表す接続詞的な用法が果たして“然后”そのものの用法か、それとも意合法によってそう理解されるだけなのかは、さらに議論の余地があると考えられるため、学習者への紹介は談話標識としての使用に留めるべきである。また、“然后”は話し言葉においては談話標識として使用されるが、過度な使用を避けるべきということも学習者に意識させたい。さらに、文間の論理的関係を中国語学習の初期段階で学習者に気づかせ、複文を構成する接続詞の習得を促すことが必要である。最後に、“以后”と“另外”は従来、習得が容易な語彙だとされているが、本研究を通して指導時間の配分を増やす必要があることがわかった。すなわち、これまで学習の重点とされていない“然后”の指導は、一つの語彙として指導することではなく、似ている表現や他の接続詞、また“然后”自体の使用法の変化との関連を考慮したうえでの指導が求められるだろう。

今後は、本稿で提案した“然后”の指導法を実践し、その有効性を検証する。加えて、先行研究で指摘された談話標識以外の拡張的用法についても考察することを今後の課題とする。

謝辞

匿名査読者からの建設的なご指摘により、本稿の質を向上させることができました。ここに感謝の意を表します。

注

- (1) 本稿は2025年6月1日に北海学園大学で開催された中国語教育学会主催の第23回全国大会において口頭発表した内容に修正・加筆を加えたものである。
- (2) 本稿で言う「準中級学習者」は、中国語の授業を約200時間受講した学習者のことを指し、その中国語能力はHSK4級に相当する。
- (3) BLCU Chinese Corpusは北京言語大学ビッグデータ及び教育技術研究所が開発した中国語のコーパスである。
- (4) 「農家小炒」は中国にある中華ファーストフードのチェーン店の店名である。
- (5) WeChatは中国で最も広く利用されているSNSの一つである。
- (6) 誤用文を修正する際は、“然后”の誤用をメインに修正しているが、他の不自然な箇所にも適宜修正を加えている。
- (7) この誤用文を修正する方法としては、“如果～就～”を用いて仮定関係の複文に書き換えるほか、“只有～才～”及び“只要～就～”を用いて条件関係の複文に修正すること、さらに“这样”を用いて因果関係の複文に修正することも可能である。ただし、学生の作文には日本語訳が付いていないため、本人の意

図を断定することができない。“如果～就～”は“只有～才～”及び“只要～就～”が導入される以前に学習した内容であり、難易度もこの三つの中で最も低い。したがって、本稿では“如果～就～”を用いて修正を行った。一方、“这样”を用いる複文は、該当作文の課題を課した時点では未習内容であったため、修正の候補には含めていない。添削後の作文は学生に返却し、再読のうえ、納得できない箇所があれば必ず質問するよう事後課題を課したが、該当点に関する質問は寄せられなかった。

- (8) SALC とは、Self-Access Learning Center の略称で、学生が自主的に言語学習を行うための施設である。
- (9) 本論文で調査対象とした教科書は、中国語を第二外国語として学習する学習者を対象に、1994 年から 2022 年までの間に日本で出版されたものである。また、本文・新出単語・文法の説明・練習問題が揃っているもののみを対象とした。
- (10) 『国際中国語教育中国語レベル等級基準』（《国际中文教育中文水平等级标准》、以下『基準』とする）は、2021 年に中国教育部国家言語文字工作委员会より公布・実施された言語文字規範で、中国語学習カリキュラムの策定や教材開発、試験デザイン、教員育成、中国語能力の評価などのガイドラインである。『基準』は中国語学習者のレベルを初等、中等と高等の三段階に分けた後、さらに各段階を三つのレベルに分けているため、学習者のレベルは九等級によって評価される。1 級は最も簡単なレベルで、9 級は最高級である。
- (11) 『新漢語水平考試大綱』（2009）は中国政府が認定する中国語検定試験（汉语水平考試、HSK）の試験範囲や出題内容をまとめたものである。それに基づいて開発された新 HSK 試験は HSK2.0 と称され、1 級から 6 級までのレベル試験が設計されていた。1 級は最も簡単なレベルで、6 級は最高級だった。
- (12) 川渡り問題とは、限られた条件の中で、登場する人や物をすべて無事に対岸に渡らせる論理パズルである。いくつかのバージョンがあるが、本稿は中国語初習者が親しみやすい「虎と山羊と花」のバージョンにアレンジした。
- (13) 緊縮文とは単文の形で複文の内容を表す文のことである。
- (14) Discourse marks の略語。本稿は談話標識という表現を採用している。

参考文献

- A・マレービアン（Albert Mehrabian）著、西田司・津田幸男・岡本輝人・山口常夫（共訳）（1986）『非言語コミュニケーション』東京：聖文社。
- 小野寺典子（2024）『談話標識へのアプローチ 研究分野・方法論・分析例』東京：ひつじ書房。
- 白晓曦（2018）《“然后”一词在口语交际中的滥用》《河南农业》11:54-55. 10.15904/j.cnki.hnny.2018.33.025
- 国家汉办/孔子学院总部（2009）《新汉语水平考试大纲 HSK 三级》北京：商务出版社。
- 焦利（2021）《话语标记语“然后”的惯性使用研究》《文化综合》46:101-102. 10.20024/j.cnki.cn42-1911/i.2021.46.041
- 刘洋（2024）《“泛用”还是“滥用”现代汉语口语中“然后”一词刍议》《哈尔滨学院学报》45（4）:114-117
- 刘育燕（2014）《来华预科生“然后”的习得情况研究》《长春教育学院学报》30（7）:11-12
- 刘月华・潘文娱・故桦（2019）《实用现代汉语语法》（第三版）北京：商务印书馆。
- 吕叔湘（2002）《吕叔湘全集第五卷 现代汉语八百词》沈阳：辽宁教育出版社。
- 齐芳（2014）《“然后”何时了》《牡丹江大学学报》23（5）:83-87. 10.15907/j.cnki.23-1450.2014.05.028
- 齐燕（2009）《口语中“然后”正在向书面语扩散》《大庆师范学院学报》29（2）:120-122
- 王伟（2004）《试论现代汉语口语中“然后”一词的语法化》《北京第二外国语学院学报》4:69-76
- 施仁娟（2020）《中高级水平留学生口语中“然后”的使用情况研究》《浙江理工大学学报》44（2）:144-149
- 荀恩东・饶高琦・肖晓悦・臧娇娇（2016）《大数据背景下BCC语料库的研制》《语料库语言学》3:93-118
- 姚红・原苏荣（2024）《话语标记“然后”在访谈节目中的互动性研究》《汉字文化》5:79-82. 10.14014/j.cnki.cn11-2597/g2.2024.05.011
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室（2016）《现代汉语词典》（第7版）北京：商务印书馆。

中华人民共和国教育部国家语言文字工作委员会（2021）《国际中教育中文水平等级标准》

chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcgclefindmkaj/http://www.moe.gov.cn/jyb_xwfb/gzdt_gzdt/s5987/202103/W020210329527301787356.pdf [2025年8月アクセス]

用例出典

BLCU Chinese Corpus（北京语言大学语料库中心）<https://bcc.blcu.edu.cn/> [2025年8月アクセス]

陳淑梅・劉光赤（2019）『わくわくスタディ実学実用 初級中国語ライト版』東京：朝日出版社.

上野恵司・魯曉琚（2022）『明るい中国語—美桜の北京留学』東京：侑文堂.

余华《活着》https://www.wenxue88.com/huozhe/hz_0001.html [2025年8月アクセス]

張恒悦（2019）『巨大中国の今 中級中国語ディベートへの招待』東京：朝日出版社.